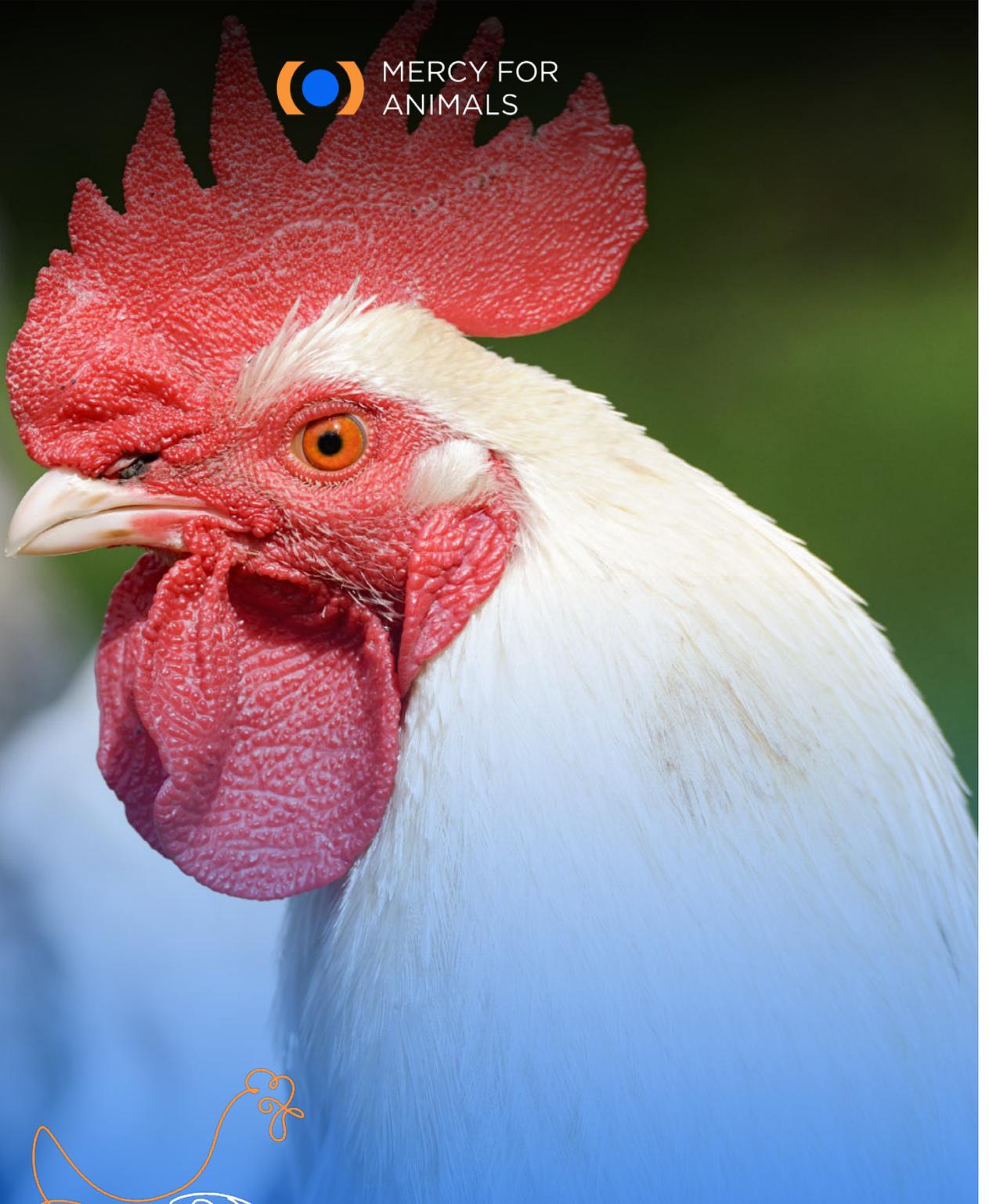




MERCY FOR  
ANIMALS



グローバル・ケージフリー  
透明性指標



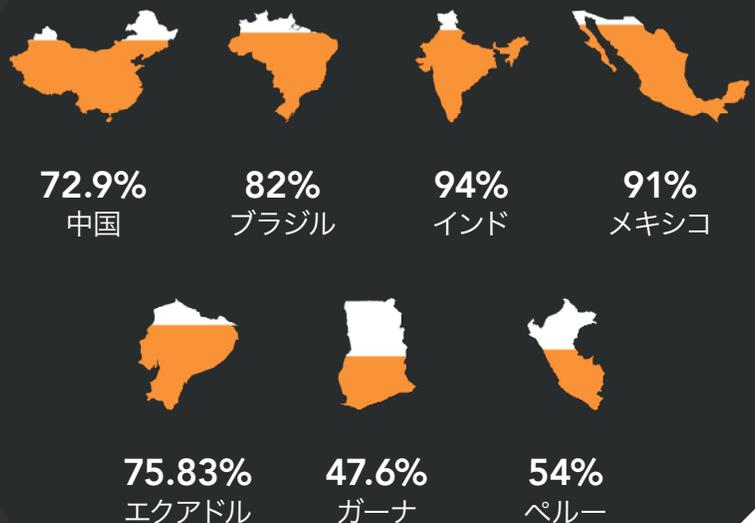
世界中のほとんどの採卵鶏は、羽を広げるスペースもなく、狭いケージに閉じ込められています。骨の損傷やその他の病気、巣へのアクセスがないことから、鶏は短い生涯の間に平均**11,207時間**もの苦痛を体験していると推定されています。



また、採卵鶏のケージ飼育は**サルモネラ菌の発生率が著しく高く**、消費者にとって食品安全上の重大な懸念があります。

グローバルな課題として、企業はサプライチェーンから鶏の残酷な飼育を禁止する責任があります。しかし、ケージフリー卵の取り組みが世界中に広がっていない場合、卵産業は、**グローバルノースからグローバルサウスへケージシステムが輸出され動物虐待が見過さされている**のです。

グローバルサウスの消費者がケージ飼育のような動物虐待に反対しているにもかかわらずそのようなことが行われているのです。<sup>1</sup>



## 残念なお知らせ：

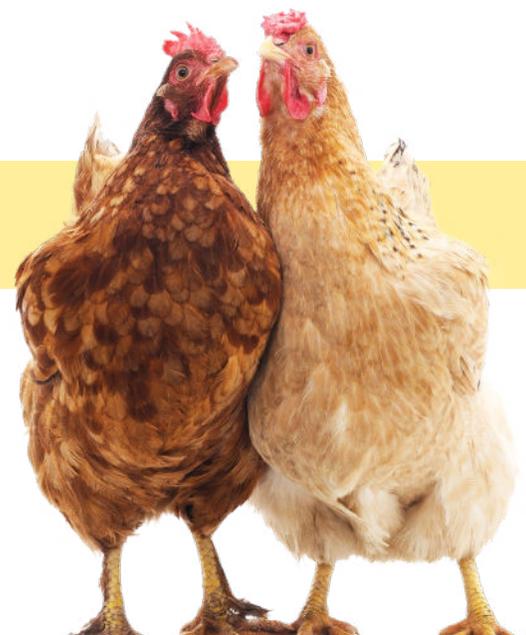
一部の企業は、グローバルサウスなどの特定の地域では、**ケージフリー卵の基準について、沈黙を続けています**。2023年7月31日現在、これらの企業は未だ、明確な期限を定めた包括的なグローバルケージフリーのコミットメントを発表していません。

- ・ アホールド・デレーズ
- ・ オートグリル
- ・ カルフル
- ・ クシュタール
- ・ グループカジノ
- ・ ジェロニモ・マルティンス・Ara
- ・ キューピー
- ・ マース
- ・ マクドナルド
- ・ セブン&アイ・ホールディングス
- ・ サブウェイ
- ・ ウォルマート

## 良いお知らせ：

アニマルウェルフェアと食の安全への懸念はグローバルノースの国々だけの政策ではありません。多くの企業が**卵のサプライチェーンにおけるケージの使用をグローバル全体に廃止することを約束しています**。

- ・ アルディ・ズード
- ・ アソシエイテッド・ブリティッシュ・フーズ
- ・ チリーズ
- ・ コスタコーヒー
- ・ DIA
- ・ エリオール・グループ
- ・ オリーブガーデン
- ・ アウトバック・ステーキハウス
- ・ シェイク・シャック
- ・ チーズケーキファクトリー
- ・ ケンタッキーフライドチキン
- ・ ピザハット



## より良いお知らせ：

ケージフリーの誓約をした透明性の高い企業は、グローバルなケージフリー移行の進捗を報告しています。消費者、投資家、一般市民は透明性を求めています。

- ・ ゼネラル・ミルズ
- ・ イケア
- ・ クリスピー・クリーム・ドーナツ
- ・ ネスレ
- ・ ペプシコ
- ・ バーガーキング
- ・ ソデクソ

## 素晴らしいお知らせ：

先駆的な企業は全ての拠点におけるケージフリーの進捗を報告しています。グローバルサウスでの透明性は、グローバルノース同様、非常に重要です。これらの企業は全拠点において透明性を保っているのです。

- ・ アラマーク
- ・ コンパースグループ
- ・ コストコ
- ・ ダノン
- ・ JMスマッカー
- ・ ケロッグ
- ・ クラフト・ハインツ
- ・ マークス&スペンサー
- ・ Newrest
- ・ ユニリーバ





グローバル・ケージフリー透明性指標は、Mercy For Animalsが以下の団体と緊密なパートナーシップのもとで行っているプロジェクトです。



会社の分類は、2023年7月31日時点で公表されたコミットメントと進捗報告を反映しています。一部のフランチャイジーまたはライセンシーは、特定の国における事業の一部(すべてではない)をカバーするケージフリーエッグの公約を掲げています。画像は、典型的な工場的畜産の状況を表しています。

本レポートの翻訳をしていただいたボランティア様の支援に感謝申し上げます。

<sup>1</sup>ブラジルでは、調査回答者の**82%**が、鶏の動きを制限する狭い空間に鶏を入れることは容認できないと考えています。

<sup>1</sup>中国では、**72.9%**の人が産卵鶏を含む畜産動物の飼育環境を改善すべきであると感じています。

<sup>1</sup>ガーナのアクラ首都圏では、**47.6%**の回答者が、閉鎖的な環境で飼育された鶏の卵よりも放し飼いの卵を好むと回答しています。

<sup>1</sup>ペルーでは、Proyecto ARBAが実施したアンケートの回答者の53%が産卵鶏の生活の質に関心を持っており、卵の購入先を変更したいと回答し、54%が産卵鶏のケージ飼育を禁止する法律に賛成すると回答しています。

<sup>1</sup>エクアドルでは、**75.83%**の回答者が、ケージ飼いの鶏の卵を使用している企業は、サプライチェーンをケージフリーの鶏の卵に移行するべきだと考えています。

<sup>1</sup>メキシコでは、**91%**の調査回答者がケージで飼育されていない鶏の卵を購入することを希望しています。

<sup>1</sup>インドでは、**94%**の回答者が食品会社は包括的な動物福祉方針を持つべきであると考えています。